

# 兵庫県民間病院協会会報

2025

5

令和7年 通巻651号

## 目次

巻頭言	(一社)兵庫県民間病院協会 理事 譜久山 剛	1
随筆		
EXPO2025 大阪・関西万博開幕に思う事	(一社)兵庫県民間病院協会 会長 西 昂	3
医療を取り巻く暗雲	(一社)兵庫県民間病院協会 理事 江尻 一成	4
ふりかえって想うこと	(医社)皓葵会 尾崎病院 事務長 山下 勝也	5
ケア労働とアンパンマン		
尼崎医療生活協同組合 尼崎医療生協病院 総看護師長 富永 容子		6
理事会報告		7
病院かわら版	(医社)みどりの会 酒井病院	9
エリア情報 (神戸・西阪神・東播・西播)		11
協会だより		18
お知らせ		18
(一社)兵庫県全日本病院協会だより		19
兵庫県病院協同組合だより		23
兵庫県病院企業年金基金だより		24

# 日本の民間病院の今後について、 chatGPT に訊いてみたら

(一社)兵庫県民間病院協会理事  
(医社)医仁会 ふくやま病院

理事長・院長 譜久山 剛



診療報酬もばっとせえへんし、人件費や諸物価も上がっていくばっかしやし、しんどいなあ。  
これからどないなるん？

chatGPT、教えて？

お答えします。

民間病院の今後にはいくつかの重要なトレンドや課題が考えられます。

## 1. 高齢化社会の進展：

日本は急速に高齢化が進んでおり、高齢者向けの医療サービスの需要が増加しています。リハビリテーション、慢性疾患管理など、高齢者に特化したサービスを強化する必要があります。

言われんでも患者さん、だいたい高齢者やがな。それも後期な。

## 2. 医療技術の進化：

テクノロジーの進化により、遠隔医療やAIを活用した診断・治療が普及しています。これらの新しい技術を導入し、効率的かつ質の高い医療を提供することが求められます。

患者さんが遠隔診療、まだ望まへんしなあ。

AI？

全然やで、うち。

あ、そや。

明石市の特異性はあるか、キーワードに入れてみよ。

なんや。元とほとんどおんなじのん出てきたな。

追加がこれか。

## 地域貢献と医療ツーリズム：

明石市は観光地として知られているため、医療ツーリズムの促進が期待されます。外国人患者の受け入れや、地域の特性を活かした医療サービスの提供が考えられます。

分かってへんなあ。明石、観光地ちゃうで。漁村やで。

ほんまに明石のこと知ってる？

外国人患者は来はるけど、多おないし、ほぼ地元企業の実習生の人やで。

### 3. 医療費の抑制：

日本の医療制度は、医療費の抑制が求められています。

コスト効率を高めるための運営改善が必要です。

病院としてもだいぶ削減してるんやけどな。

あんま削るとこないで、ほんま。

### 4. 地域医療との連携：

地域医療との連携が重要視されています。民間病院は、地域のクリニックや他の医療機関と協力し、患者のニーズに応える体制を整えることが求められます。

対応できる救急は受けてるし、地域の先生からの食べられへんとか起きられへんとかちょっとした入院も、基幹病院からの在宅復帰支援の入院もやってるんやけどなあ。

### 5. 国際化：

外国人患者の受け入れや、海外展開を視野に入れたサービスの提供も考えられます。特に医療ツーリズムの促進が期待されています。

もおええわ。

これらの要素を考慮しながら、民間病院は今後の戦略を立て、変化する医療環境に適応していく必要があります。

### 《結論》

だいたい、chatGPTに訊いてももともと分かってることやし（ごめんな、AI）。

民間病院の行く末、ここからは体力と気力勝負やな。

# EXPO2025 大阪・関西万博 開幕に思う事

(一社)兵庫県民間病院協会会長  
(医)康雄会 西病院

理事長 西 昂



EXPO2025大阪・関西万博がついに開幕しました。皆さんはもう行かれましたか？ 私はまだ訪れていませんが、万国博覧会の醍醐味は海外の文化に触れることができる点です。コロナで海外が少し遠のいてしまい、私も海外旅行を長くしていませんが、せっかくの万博ですので、飛行機に乗って行くには少し遠いと感じる国のパビリオンに立ち寄ってみたいと思っています。1970年の大阪万博のときは、医大生でした。私は東京にいたこと、忙しくしていたので訪れる機会がなかったのですが、妻は、万博で生まれて初めてナシゴレンを食べたと言っていました。

あれから55年の月日が経ち、海外も身近になり、インフラも整備され、気軽に海外の食事や文化を体験できる時代になってきていると思います。とはいえ、未知の海外の美味しい料理に興味があり、それを食べることができないのか、調べてみました。まず、クロコダイル・フィレロール。ワニの肉をはさんだサンドイッチだそうです。また、マルタでは兎の肉を食する文化があるそうで、兎の肉を使ったパスタもあります。ユネスコ無形文化遺産に登録されている、

イル・フティーラというサンドイッチのようなパンもあります。他にも名前を聞いたこともない料理が多くありました。

さて、日本の食文化も世界へ発信する絶好の機会です。1970年の万博では缶コーヒーの文化を生み出したと言われています。今では、缶コーヒーは身近な存在ですが、万博が世間へ流通するきっかけとなったことは驚きです。今回の万博でも、「持続可能」をテーマにした、安心安全な日本ならではの食文化の発信をテーマにしている企業が多いと感じています。

また、医療の分野でも日本はiPS細胞から作った小さな心臓を展示しています。より実用化の段階に近づいた証となり、期待が高まっています。

万博は、単なる人が集まるイベントではなく、最先端技術など世界の英知が結集し新たなアイデアを創造発信し、交流活性化によるイノベーション創出を創出する場や豊かな日本文化を発信していくことを目指しているそうです。

皆さんもぜひ、そのような視点で万博を楽しんでみてください。

## 医療を取り巻く暗雲

(一社)兵庫県民間病院協会理事  
(特医)光寿会 城陽江尻病院

理事長 江尻 一成



某新聞によるとジェネリック薬の使用が9割になったとの記事が載っていました。自己負担が増えるのを嫌って僅かな出費も抑えようとする患者さんの悲痛な声が聞こえてくるようです。

年金生活のお年寄りにとって、最近の物価上昇は命取りです。

日本の人口減少で破綻寸前の医療保険を何とかしなくてはならないのは十分理解できますが、医療保険の破綻はそれだけではないような気がします。某企業のWebサイトを検索すると薬は何でも手に入るそうで、お金さえあれば購入可能なようです。

日頃欠品だらけで苦労している医療業界とは違った世界があるそうで、病院や診療所、調剤薬局では欠品だらけの薬も手に入るそうです。

数年前からインバウンドで来訪した人々がドラッグストアで薬を大量購入していることがテレビのニュースで話題になっていましたが、まさかとは思いますが、医療保険を利用した薬の流出の可能性はないのでしょうか。

長期処方を要求する患者さんが増えてきたようですが、検査も診察もしたがらずに忙しいからといってスタッフにカスハラまがいの恫喝をして診察よりも処方箋を要求する患者さんが増えてきたように思います。

これが薬不足や保険診療以外に流出している原因になっていないことを祈るばかりです。

インフレの時代になり、他業種の給与は軒並み上昇に転じてきました。

このような状況は公定価格での収入に頼る医療業界はなす術がありません。

医療系のネットニュースでは医療従事者の

77%が「離職を検討」しているとのアンケートが掲載されていました。その理由の主なもののカスタマーハラスメントと収入の低いことだそうです。

最近国立病院機構の看護師が春闘を行なっています。私が須磨日赤で研修していた頃、毎年看護師のストライキを目の当たりにしていたことを思い出し、懐かしく思います。Z世代と言われる20歳代の若者が我々と同じようにリスクを取れるようになってきていることには頼もしく思えます。我々の時代では全学連や全共闘など学生運動が活発で、私が大学受験をした時は東大の大学受験が中止になった時で、安田講堂が占拠された時でした。大学に入学した後も大学紛争の名残で1年間授業が満足に出来ず、半年間の留年で9月進級になってしまい、進級試験は6月末になり、9月に試験がなくなったお陰で夏休みを十分に堪能できたことは懐かしい思い出です。

医療費の削減が話題にならない日がないほど目立つ今日この頃ですが、突然の看護師のストライキが良い方向に向かうことを願うばかりです。若い医療従事者がインバウンドで好景気に沸く他業種が魅力的に映るのも頷けます。医療より好景気が続くことが予想されるサービス業への移動が起こっても不思議ではありません。やり甲斐のある職場環境を提供することが大事なのは火を見るより明らかです。

国家資格者で運営されている医療業界のスタッフが、国家資格がなくても就労できるサービス業に流出してしまっただけで医療崩壊の原因にならないように祈るばかりです。

## ふりかえって想うこと

(医社) 皓葵会 尾崎病院

事務長 山下 勝也



はじめまして。昨年6月の法人化に伴い、事務長を拝命しました、山下と申します。令和5年に県を退職するまで、民間病院協会とは無縁の立場にありました。また、西播磨以外では知人も少ないため、自己紹介を兼ねて現在の想いをお伝えしたいと思います。

私はもともと事務畑の出身ではなく、昭和59年に神戸医療技術専門学校（現神戸総合医療専門学校）を卒業した診療放射線技師です。県立病院が新設されるという話を聞き、先生の勧めで試験を受けたところ合格。しかし、配属先は病院ではなく保健所でした。不満を抱えながらも、公務員としての生活をスタートさせました。保健所では、治療を終えた結核患者やその家族の胸部撮影を担当しました。そのうちに、患者管理、公費負担、補助金業務にも携わるようになり、次第に業務が事務中心となっていきました。当初は「なぜ技術職の自分が事務業務を…」と戸惑いもありましたが、がん検診の補助金業務に関わる中で、技術基準に基づいた適切な検診の重要性を知り、技術職ならではの視点が住民の健康に役立つことを実感しました。この頃からようやく、「この仕事を一生の仕事にできる」と思えるようになったのかしれません。

その後は感染症対策をライフワークとするようになりましたが、業務の再編により医務業務（医療法等）を担当することになり、医療機関の立入検査が主な業務となりました。ある日、所長から「災害時における医療体制の充実強化について」という厚労省通知と、危機管理関連の書籍を渡され、「勉強しておいてくれ」と一言。

それをきっかけに、EMIS研修やSCU（航空搬送拠点臨時医療施設）見学会に参加し、危機管理業務へと深く携わるようになりました。

翌年には保健所内に危機管理作業チームを設置。西播磨地域の事務長や看護部長とともに病院のBCP（事業継続計画）作成に取り組む勉強会を開催しました。さらに、竜巻災害を想定したDMAT受け入れ訓練や、自衛隊を巻き込んだ大規模訓練へと発展。しかし、コロナ禍で訓練は中断を余儀なくされました。ただ、その経験は新型コロナ対応に大いに役立ったと感じています。危機管理において最も重要なのは、「情報のスムーズな伝達と共有」です。アナログ的ですが、すべての情報を対策本部中央のホワイトボードに記載し、誰でも現状を把握できる体制を整えることが、業務遂行の鍵を握ると痛感しました。

39年間の保健所勤務を振り返ると、神戸のエイズショック、阪神・淡路大震災、MERS、東日本大震災、2009年の新型インフルエンザパンデミックなど、さまざまな危機を経験してきました。BCPマニュアルの整備も重要ですが、それ以上に大切なのは、日常的な人と人とのつながり。「顔の見える関係」がいざというときに大きな力を発揮することを、身をもって学びました。

思い返せば、私のキャリアは決して計画通りではなく、意図せず始まった仕事も少なくありません。しかし、そのすべてが今の私につながっています。未知の課題に直面したときこそ、柔軟に適応し、人とのつながりを大切にすることが重要だと改めて感じています。これからも皆さまとともに、より良い病院環境を築いていければ幸いです。

## ケア労働とアンパンマン

尼崎医療生活協同組合 尼崎医療協病院

総看護師長 富永 容子



新型コロナウイルス感染症の患者が日本で初めて確認されてから、5年が経過します。5類と  
なっていて以来、日々の感染者数が報告されることは  
なくなりましたが、今も病院や介護施設では時  
折クラスターが発生し、いまだ、感染対策を緩め  
ることに躊躇しています。ユニバーサルマスク  
ング、会食禁止、三密を避けるなど、一般市民の  
日常生活以上にケア労働の現場は変わらざるを  
得ませんでした。加えて、感染ピークになると年  
齢などによる命の選別が行われ、DNARを確認  
しないと高齢者の入院は受け入れをしてもらえな  
いなど、「無念の死」が「仕方がない」とあきら  
めざるを得なかったし、命の尊厳が脅かされてい  
る事態に、当事者として忸怩たる思いがありまし  
た。そのことは、今も消化しきれない事実です。

日本中がパンデミックに震撼したころ、医療  
現場や介護現場の労働者は「エッセンシャル  
ワーカー」とたたえられました。私は、ケアの  
仕事はなくてはならないという社会的な評価を  
受けたと思っていました。私たちの病院でも、  
とあるピザ屋さんから「病院の職員さんありが  
とう！」と山のようなピザが届き、みんなで美  
味しくいただいたりしました。

ようやく、ケア労働に陽が当たり、医療費抑  
制政策が少しは修正されるのかとおもいきや、  
その後の診療報酬・介護報酬改定の中身は実質  
的なマイナス改定で、医療・介護事業所をさら  
に厳しい環境に陥らせています。

生まれてきて、死んでいくまで、私たち人間  
は他者からのケアなしには存在ができません。

まだ目も見えぬ新生児でさえ、時折「ほほえみ」  
を見せて周りの大人を喜ばしてくれます。これ  
は、「生理的ほほえみ」と呼ばれる現象で、ケア  
が必要な新生児が他者から愛され、適切にケア  
を受けることができるように、DNAに組み込ま  
れた営みといわれています。他者からのケアを  
必要とする程度は人それぞれと思いますが、本  
質的に人間社会に必要なものであると思います。  
でも、今の日本社会が、豊かなケアを提供でき  
る仕組みを持っていると言えるのでしょうか。

おりしも、NHKの連続テレビ小説「あんぱん」  
が始まりました。うちの1歳6か月の孫の大的  
お気に入りの「アンパンマン」の生みの親、漫  
画家やなせたかしさんと妻のノブさんの物語な  
ので、ついつい目が行きます。印象的なセリフ  
にドキリとしました。『正義は逆転する。簡単  
にひっくり返ってしまうことがある。じゃあ、  
決してひっくり返らない正義って何だろう』…  
アンパンマンの場合は、おなかですいて困っ  
ている人がいたら、一切れのパンを届けてあげ  
ること。やなせたかしさんは第二次世界大戦で出  
征し、中国で終戦を迎えます。弟の千尋さんは、  
22歳の若さで戦死しました。正義は、戦争の前  
と後でひっくり返ってしまったのでしょうか。

ひっくり返らない正義…私たちにとっては、ど  
んなことなのでしょう。平和で安心して暮らすこ  
と、食べることに事欠かないこと、一人一人の命  
が大切にされること、必要な時にケアを受けら  
れること…そんなことを思いながら、孫とアンパ  
ンマンごっこをして遊ぶことが今の一番の楽しみ  
です。

## 令和7年度 第1回

# 理事会議事録(速報)

I 日 時 令和7年4月17日(木)  
15:00～15:35

II 場 所 兵庫県医師会館6階  
第4・5会議室

III 出席者 理事総数20名 出席理事16名  
監事総数2名 出席監事2名  
理 事：西昂(会長)、高橋玲比古(副会長)、  
橋本創(副会長)、森光樹(副会長)、  
常岡豊、大村武久、那須範満、  
大江与喜子、藤久和、具英成、  
宮地千尋、吉田寛、森村安史、  
大西尚、井上喜通、東靖人  
監 事：北川透、稲見直邦  
オブザーバー：播間利光(事務長会会長)、  
寺岡由佳里(看護部長会会長)

なお、高橋玲比古、橋本創、森光樹、大村武久、  
那須範満、藤久和、吉田寛、大西尚、井上喜通、  
東靖人はWeb会議システムにより出席した。

#### IV 会議の成立

理事16名が出席し、定款第34条に規定する  
定足数を満たしており、本理事会が成立した  
旨確認された。

#### V 議 長

西昂会長が、定款第33条の規定により議長  
となった。

#### VI 議事の経過の要領及びその結果

##### 1 協議事項

###### (1) 令和7年度近畿病院団体連合会第1回 委員会について

中村事務局長より、資料に基づき、令和  
7年度近畿病院団体連合会第1回委員会  
の議題案について説明があった。兵庫県民  
間病院協会からの提案議題として、橋本副  
会長から「災害対策」が挙げられ、協議の  
結果、全員一致をもって承認し、可決した。

##### 2 報告事項

###### (1) 神戸圏域医療介護連携システムの退会 について

西会長より、以下のとおり退会が報告  
された。

施設名 (法人名省略)	神戸百年記念病院
代表者	院長 朝田 尚宏
所在地	神戸市兵庫区御崎町1-9-1
退会日	R7.2.5

※退会後の加入機関

70病院 36老人保健施設  
8医療介護SC

###### (2) 神戸圏域医療介護連携システムの利用状 況について

中村事務局長より、資料に基づき、神  
戸圏域医療介護連携システムの利用状況  
について報告された。

##### 3 その他

###### (1) 病床数適正化支援事業について

西会長より、病床数適正化支援事業に  
ついて情報提供があった。



(2) 物価高騰の影響を受けた医療施設等に対する優遇融資の拡充について

西会長より、物価高騰の影響を受けた医療施設等に対する優遇融資の拡充について情報提供があった。

Web会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく終了した。

これからの医業経営へ、「信頼」で結びたい。



医療・保健・介護・福祉施設が抱えるあらゆる課題を、資格認定されたコンサルタントが解決します。

『認定登録 医業経営コンサルタント』は、医業経営に携わる方々が直面する課題に的確・迅速に対応するため、所定の継続研修を履修し、常に資質の向上を図っています。

**JAHMC**  
Japan Association of Healthcare Management Consultants  
公益社団法人 日本医業経営コンサルタント協会

〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15 ホスピタルプラザビル5階  
TEL: 03-5275-6996 FAX: 03-5275-6991 <http://www.jahmc.or.jp>



医療法人社団みどりの会  
酒井病院



事務部長  
前田 徹

当院は昭和54年、酒井外科(19床)として開院し、基本方針として地域医療サービスの向上に努力し、患者様に満足していただける病院づくりを目指してまいりました。昭和61年には酒井病院(116床 現在は112床)と名称を変更し、透析センター(40床)も併設いたしました。平成14年に法人を設立し「医療法人社団みどりの会 酒井病院」となりました。平成17年には佐用町に透析医療施設さかいクリニック(30床)を開設し姫路以西、佐用町において先駆的な透析医療施設として数多くの透析患者さんに最新の透析治療を提供いたしております。

平成19年に介護事業施設であるデイサービス・居宅介護支援事業所・ヘルパーステーション・訪問看護ステーションを開設しました。平成22年に病院併設のリハビリ・健診センターを開設し回復期リハビリ病棟(39床)を開設いたしました。平成24年に小規模多機能ホーム開設、平成26年にはサービス付き高齢者住宅「フルーツガーデンさかい」を開設(居室数102部屋4階建て)、開設に合わせ同建物1階に介護事業所を統合し協力体制をとり飾西さかいクリニック(透析医療施設20床)を併設し開設しました。平成28年に地域包括ケア病床(25床)増床、平成30年に一般病床(14床)・地域包括ケア病床(25床)・回復期リハビリ病棟(39床)・医療療養病棟(34床)と現在の体制になりました。



酒井病院

酒井病院では外科、内科、整形外科、泌尿器科等の幅広い外来診療や救急診療を始めとし、患者さんの状態に応じた入院医療を提供すべく、急性期・地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養型病棟の各病棟を備え、急性期医療から生活期医療の治療が行えるケアミックス病院として地域の皆様に医療を提供しております。

在宅診療では訪問診療、往診等を行い患者さんの健康管理に努めております。必要に応じて、併設する介護事業所とのスピーディーな連携により介護サービスの提供も行っております。フルーツガーデンさかいは102室の居室があり、入居されている方の透析医療施設 飾西さかいクリニック（20床）を併設、酒井病院とも連携し安心して生活を送っていただける体制を整えています。また訪問看護ステーションより、緊

急時も含め24時間体制で見守りを行っております。デイサービスセンター、訪問介護ステーション、小規模多機能ホームも併設しており様々なサービスを提供しております。

また酒井病院では市民公開講座を行っており、最近では嚥下や睡眠をテーマに講演を行いました。今後も地域住民の方々が安心して地域で生活を送れるよう、市民公開講座を行ってまいります。

今年は開院46年となり、今後はこれまで以上に在宅部門である在宅診療の充実を図ってまいります。医療・介護における様々な変革の中、常に基本方針を忘れず、理念に基づいた〈信頼・安心・満足〉を念頭に職員一同、地域の皆様と近隣医療・介護事業所との連携を図り、お力添えに感謝いたしまして、より一層の精進する所存です。



フルーツガーデンさかい



デイサービスと院内保育園のクリスマス会

# エ リ ア 情 報

## 神戸

(公社) 神戸市民間病院協会  
令和7年4月度 第10回理事会

日 時 令和7年4月24日(木) 15:00  
場 所 神戸看護専門学校 8階 講堂

理事総数15名 出席理事数9名  
監事総数2名 出席監事数2名

### 出席役員

代表理事 (会長) 西昂 (議事録作成者)  
理 事 高橋玲比古、吉田寛、金守良、  
稲見直邦、中井正信、笹野哲郎、  
大西安代、中野市雄  
監 事 西村元延、飯塚敏勝

### 出席参与・参事

参 与 山本正之、藤久和、具英成  
参 事 横内幸男、阿児良典、谷口美幸、  
岩城一男

### 理事代理

藤井正彦理事代理 川田 一途

上記のとおり出席があったので定款第33条の  
規定により会長 西 昂が議長となり、開会を宣  
し議事に入った。

報告事項1 令和7年3月度管理部門並びに看  
護専門学校の収支報告

議長の指名により事務局長から、3月度管  
理部門並びに神戸看護専門学校収支について  
報告を行った。

報告事項2 学校報告

議長の指名により学校長から下記の報告を

行った。

(1) 令和7年度入学式

令和7年4月8日(火) 10:00～

8階講堂にて挙行。23期生71名が入学。

(2) 学生の状況

学生在籍者総数：208名

1年生：

入学生 23期生71名

(女子65名、男子6名)

現役生：34名 47.9% (56.3%)

社会人経験者：37名 52.1% (43.7%)

平均年齢：25.5歳 (23.4歳)

※ ( ) 内は昨年度実績

4月8日

入学式終了後に保護者説明会開催  
(25名参加)

4月9日～15日

入学ガイダンス

4月16日

学外研修 (人間関係構築・協調性育  
成のための研修)

4月22日～25日

看護を考える実習

2年生：

在籍者数80名 (内、男子12名)

3年生：

在籍者数57名 (内、男子8名)

5月7日～7月25日

専門分野実習

(3) 第114回看護師国家試験結果

受験者：61名 合格者：56名

※ ( ) は昨年結果

合格率：本校 新卒者 91.8% (89.7%)

全 体 85.9% (88.6%)

全国 新卒者 95.9% (93.2%)

全 体 90.1% (87.8%)

今後の国家試験合格率向上を目指し、1

# エ リ ア 情 報

年次からの学習支援対策を継続

## (4) 就職説明会

4月11日(金) 13:30～

兵庫県中央労働センターにて各会員病院の説明会を開催

27施設参加 2部制(1部:1年生対象、2部:2・3年生対象)で実施

学生参加:約170名

アンケート結果:場所・時間・構成等満足したという結果が多かった

## (5) 2026年度入学試験の募集要項変更点について

- ・社会人入試受験要件として兵庫県民間病院協会会員病院で2年間の勤務経験者の枠を追加し面接を免除するものとする(社会人入試の形式が2種類となる)

- ・一般試験を1回増やし、3次試験まで実施するものとする

## (6) 職員人事に関する事項

4月1日～

実習調整者1名 就任

成人看護学専任教員1名 入職

職員:教員16名 事務職8名

職員総数24名

## 報告事項3 事務長部会・看護部長部会

令和6年度収支報告

議長の指名により事務局長から、事務長部会及び看護部長部会の令和6年度収支報告を行った。

## 報告事項4

議長の指名により事務局長から、3月理事会で承認された「令和7年度事業計画・収支予算」を3月26日付で兵庫県知事に提出した旨報告した。

## 議題1 令和6年度事業報告及び決算書類等

(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)の承認の件

議長の指名により事務局長から、令和7年度定時総会資料の4.報告及び5.議決事項の項目の概要を説明した後、令和6年度事業報告及び決算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)の内容について、総会資料を基に説明した。

議長は、この案を議場に諮った結果、満場一致で承認された。

## 議題2 定時社員総会招集の件

議長の指名により事務局長から、第13期定時総会(5月29日(木)15時～ホテルオークラ神戸)の定時総会招集通知、出欠通知(委任状)及び懇親会費の払込取扱票について説明した。

議長は、この案を議場に諮った結果、満場一致で承認された。

## 議題3 定時総会后「合同懇親会」招待者の確認

議長の指名により事務局長から、定時総会後の「合同懇親会」について、例年と同じ考え方で招待者名簿を作成した旨報告した。

## 議題4 自民党神戸市議員団との要望懇談会について

議長の指名により事務局長から、3月25日(火)に開催された自民党神戸市議員団との要望懇談会の内容について報告を行った。

## 議題5 受水槽の更新工事の実施について

議長の指名により事務局長から、看護専門学校西校舎の受水槽が製造から30年を経過していること等から更新することとし、施工業者を3者見積もりを徴した上で決定、夏休み期間中に工事を実施する旨説明した。

議長は、この案を議場に諮った結果、満場一致で承認された。

## 議題6 その他

「臨床研究イノベーション2.0 神戸医療産業都市の現在そして未来」の紹介

# エ リ ア 情 報

定時総会 5月29日(木) 15:00～  
ホテルオークラ神戸  
6月理事会 6月12日(木) 15:00～  
15時50分から、二次救と合同で、神戸市健康局・消防局の4月の人事異動に伴うご挨拶、及び健康局地域医療課より「新EMISにおける登録情報確認のお願い」があった。

## (一社)神戸市第二次救急病院協議会 第10回理事会議事録

日 時 令和7年4月24日(木)  
15:50～17:00  
場 所 神戸看護専門学校 8階 講堂  
出席役員 理事10名 監事2名 実行委員9名  
議 長 高橋玲比古 会長

### 議 題

- 1 神戸市健康局・消防局令和7年度幹部職員挨拶と依頼事項について  
神戸市健康局・消防局より令和7年度組織編成に伴い、神戸市民間病院協会及び神戸市第二次救急病院協議会に熊谷健康局長以下、多数の幹部職員が来訪され、代表として熊谷健康局長、宮本消防局救急部長が、ご自身の略歴及び神戸市の現況の医療情勢を報告され新年度以降への方針を含めた挨拶があり、続いて来訪された幹部職員の方々が個々に自己紹介された。そして最後に、今年度も更なる神戸市民間病院協会、二次救急協議会との密なる連携・協力を依頼されて挨拶を締めくくった。
- 2 令和7年度理事会新体制について（実行委員を含む）  
高橋会長より、二次救急協議会も新年度を迎えるにあたり、理事及び実行委員も数名の

役員が辞任され、その後任として新役員候補の方々を選考する事とし、理事会役員交代の一覧表を作成し議題提出した。それによると、理事2名が今年度定時総会にて辞任されると同時に新理事候補者2名が就任する案となっており、定時総会は5月であるので本日、4月の理事会はオブザーバー参加として紹介された。更に、実行委員2名は3月をもって辞任されたので後任の実行委員候補者が本日理事会に参加されており、実行委員は理事会決議で交代出来るので本日、4月の理事会での新実行委員就任となるとした。その後、高橋会長がこの役員交代案を理事会に諮ったところ異議なく承認された。よって、新理事を含めた理事会役員案は定時総会に議案提出する事となった。

### 3 令和7年度事業計画について

高橋会長より令和7年度事業計画の説明があった。それによると、神戸市内の救急医療体制は、コロナ感染症の法的位置付けが変更されて徐々に平時の姿を取り戻しつつある。しかし、今後も引き続き、感染症対応の経験を活かした柔軟かつ迅速な対応力が求められている。又、令和6年度の神戸市における救急出動件数は経年的に高止まり状況にあり患者総数は114,200件（対前年比3.4%増）、搬送者数は58,700人（対前年比0.4%増）に達した。この結果は高齢者人口の増加、軽症患者搬送依頼の増加、搬送困難事例の再燃が背景にある。そのような状況下で転院搬送に関する課題も顕在化し神戸市MC協議会傘下の「転院搬送ワーキンググループ」において議論が行われ一定の方向性が示された。当協議会は、令和7年度も神戸市の救急医療の中核を担う団体として地域住民の安心・安全を支えるべく、以下の方針に基づき活動を展開する。

(概略として)

1. 二次救急機能の強化
2. 医師の働き方改革への対応
3. 終末期救急医療への取り組み
4. 在宅重症身障児者救急への協力
5. 救急患者の適正な搬送業務への協力
6. Mefisの利用促進と救急車モニターの機能強化
7. 大災害への対応…「災害対応マニュアル」の整備と改善
8. 神戸市第二次救急病院協議会の公益性についての周知
9. 初期救急・三次医療機関との連携強化
10. 転院搬送件数増加への対応

以上、高橋会長の簡潔な説明後、理事会に諮ったところ異議なく承認された。

#### 4 令和6年度事業報告・決算報告・運営補助金について

釜戸事務局長より令和6年度当協議会事業報告・決算報告・運営補助金の説明があった。それによると、事業報告は例年通り年間会議開催実績回数、救急患者数実績の経年比較、及び会員病院数異動状況の説明があった。次に、令和6年度の決算報告は、昨年計上した予算額と比較した説明があり、まず、収入の部では、概ね予算額との誤差は想定されたもので、一部の運営補助金項目は予算時に想定した予測額より3月末での実績が増額となった。又、システム改修準備金は今年度もシステム改修が消防局とのシステム連携関連で未実施となり減額となった。ただし、これらの項目についての増減額は、支出の部でも同様の増減額を計上しており収支に影響はないとした。次に、支出の部ではまず事業費では前述のシステム改修費は未実施で減額となっており、他には総会・交歓会関連での会場支出の減額、脳・循環器専門学術部会やホームペー

ジ保守未実施等で経費削減となり、又、役員運営費では会議開催回数や出席役員数の実績、及び予備費未使用から減額となった。更に、福利厚生費では事務職員の年齢による保険料徴収停止となり実質経費削減となった。その他の一般経費は、概ね少額ながら減額の決算額となったとした。そして、これらの経緯により最終的に令和6年度の決算結果は、予算書での当期収支差損額△150万円から約170万円改善された20万円の収支差益となったと報告した。最後に定時総会承認後に各会員病院に交付される運営補助金の配分明細については既に3月度の理事会にて承認済みであるので、総交付額として少額の補正額があるが、詳細の説明は省略するとした。これを受け高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。よって、これらの報告書は定時総会に報告・議案提出する事となった。

#### 5 令和7年度理事会等へのWeb会議導入について

釜戸事務局長より、令和7年度より実施される理事会等へのWeb会議導入について、既に1月の理事会にて承認されている事案ではあるが、定款上、会務に要する費用については総会決議が必要となっているので、今年度の定時総会に議案提出する事を顧問税理士と相談し決定したと報告された。そこで高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。

#### 6 第46回定時総会の次第内容について

高橋会長より本年度の定時総会の次第内容について役員の役割分担の協力依頼があり、理事会にて慎重に審議され、適時適任の役割分担が確認された。

#### 7 救急医療未収金回収支援事業について（令和4・5年度）

釜戸事務局長より、標記支援事業の経過報

# エ リ ア 情 報

告があった。それによると、令和6年度（事業対象は令和4・5年度）の当該支援事業について会員病院へ適用となる申請依頼をしたところ、合計5病院からの申請があり総額で約16万円の申請額となった。この内容につき、二次救急事務局にて要綱に基づき厳選審査した後、神戸市健康局に支払請求したと説明があった。その後、神戸市健康局の審査完了を待って5月初めに二次救急協議会に交付予定となり、5月中に該当する5病院に事務局から振込予定であるとした。これを受けて、高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。

## 8 令和7年度神戸マラソンメディカル協議会委員の推薦について

釜戸事務局長より、神戸マラソン事務局から令和7年度の標記委員への推薦依頼が届いており、理事会にて審議して頂きたいとした。そこで、理事会にて審議した結果、前年度も委員を担当して頂いていた吉田泰久理事に引き続き依頼する事で意見が一致し、吉田泰久理事の同意も得た。後日、当事務局より、マラソン事務局へ推薦書を提出する事となった。

## 9 令和6年度罰則明細について

釜戸事務局長より、令和6年度のMefis当番入力による罰則該当病院、及び罰則金額が確定し、その結果報告があった。当該罰則金は1年間を通じて3病院で合計9,000円であった。これを受けて高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。近日中に事務局より該当病院に通知する事になった。尚、罰則金は補助金配分時に該当病院補助金から差し引かれる事になったとした。

## 10 二次救急輪番制当番引受必須義務達成について（令和7年1月～3月）

釜戸事務局長より、定款に則り標記状況について結果報告があった。それによると、神

戸徳洲会病院を除く44病院が、当番引受必須義務単位数（17.5単位）は無事にクリアされているとの事であった。これを受け高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。

## 西 阪 神

### 2025年度 事務長総会 議事録

日 時 令和7年4月17日(木)

15:30～16:00

場 所 西宮市医師会 会議室

出席者 32病院のうち24病院出席  
(内委任状出席3病院)

議 長 伊田会長

書 記 國見会報編集委員

### 開 会

新会長の伊田会長より挨拶。

32病院のうち24病院出席（内委任状出席3病院）にて構成員の過半数出席にて総会成立の報告。

### 議 案

#### 1 2024年度 事業報告（野原副会長）

- ・事務長会役員、委員会の委員と主な役割、事務長研修会の報告  
→全員賛成につき可決

#### 2 2024年度 決算報告及び監査報告 (的場会計・荒木会計監査)

- ・決算内容の報告及び監査報告  
→全員の賛成により可決

#### 3 2025年度 事業計画案の承認 (池崎副会長)

- ・事務長会役員、委員会の委員（案）と主な



# エ リ ア 情 報

役割、事務長研修会（案）について  
→全員の賛成により可決

- 4 2025年度 予算案の承認（的場会計）  
・2025年度の収支予算案について  
→全員の賛成により可決

その他報告事項（池崎副会長・伊田会長）

- ・事業計画に関するアンケート調査結果報告
- ・西阪神民間病院協会（随筆・かわら版）原稿依頼者名簿確認
- ・名誉会員・OB会員の更新案内

## 2025年度 事務長研修会 議事録

日 時 令和7年4月17日(木)  
16:00～17:00

場 所 西宮市医師会 会議室

出席者 31名のうち21名出席

議 長 伊田会長

書 記 國見会報編集委員

事務長研修会に先立ち、人事等による入退会者の挨拶。

### 議 案

- 1 適時調査報告（有馬病院 辰巳事務長）
  - ・4月16日に適時調査が実施され、調査内容等について報告。
  - ・昨年9月北摂中央病院6年ぶりに入った。夜間看護体制加算の傾斜配置について指摘あり、問い合わせ時の記録を見せ返金は免れた。（的場事務長）  
→5月15日に仁明会病院にて適時調査が実施予定。
- 2 事務長研修会の研修内容について（仁明会病院 伊田事務長）

- ・心理的安全性やアンガーマネジメントなど対人力を養う研修も取り入れたい。
- ・病院によっては機能が違うが、いろんな機能の病院も対象となる研修を取り入れたい。  
→5月より開始にて進める。

- 3 医事部会よりご報告（さんだりハビリテーション病院 石田事務長）
  - ・議題3項目について報告がなされた。  
→特に質疑なし

◎次回の事務長研修会の予定

日時：令和7年5月15日(木) 15:30～

場所：西宮市医師会 会議室

## 東 播

### 第617回 事務長会・役員会 議事録

日 時 令和7年4月8日(火)  
16:30～17:00

場 所 ホテルキャッスルプラザ 西明石

参加者 黒川、田中、藤井、伊福、船木、山野、山田、西井、吉岡、村上

### 協議事項

- 1 今年度事業について
  - ・4月17日開催の東播磨民間病院協会の総会、及び事務長会の次第について、確認を行った。
  - ・会報誌の誌上討論会は大西脳神経外科病院にご担当いただく。
  - ・今年度の研修会を7月30日(水)午後から、ホテルキャッスルプラザ西明石で開催する。講師は(株)インソースの川本哲也氏を招聘

# エ リ ア 情 報

し、ChatGPTについて、をテーマとする予定。

## 2 医療情報交換 等

- ・職員が外部講師を担当した際の報酬の受け取りについて意見交換。有給で対応している場合は職員個人の収入として受け取っているとの回答が大半であった。
- ・入院中の患者の遺失物の補償について意見交換を行った。

## 次回開催予定

日時：2025年5月13日(火) 16：30～

場所：ホテルキャッスルプラザ 西明石

## 西 播

### 令和7年度 第1回 理事役員会

日 時 令和7年4月19日(土) 13：00～

場 所 姫路キャッスルホテル 2階松竹の間

#### 議 題

- 1 兵庫県民間病院協会 理事会からの報告
  - (1) 物価高騰の影響を受けた施設等に対する経営資金又は長期運転資金のお知らせ
- 2 西播民間病院協会 検討・報告項目
  - (1) (公財)姫路市救急医療協会理事の推薦について
  - (2) 退任に伴う理事選出について

- (3) 令和6年度 事業報告について
- (4) 令和6年度 会計報告について
- (5) 令和7年度 事業計画(案)について
- (6) 平成7年度 西播民間病院協会定時総会について

日 時 令和7年6月12日(木) 18：00～

場 所 ホテルモントレ姫路

#### 次 第

1. 総 会 18：00～18：30  
3階「メヌエット」
2. 特別講演 18：30～19：30  
3階「ルツェルナ」

演題 仮題『西播磨圏域のDPCデータ分析報告』

講師 神戸大学大学院 医学研究科  
AI・デジタルヘルス科学分野  
特命准教授 姉崎 久敬 先生

3. 医療連携交流会 19：30～

3階「ラフェスタ・キアロ」

参加費 講演会及び交流会ご参加

8,000円／人

講演会のみご参加

3,000円／人

- (7) 総会・講演会・懇親会の役割担当について
- 3 その他

- (1) 次回役員会の日程

日時 令和7年5月17日(土) 13：00～

場所 姫路キャッスルホテル 2階松竹の間

※6月は定時総会開催月にて、6月の理事役員会は休会です。

## 協会だより

令和7年5月 15日(木) 理事会  
19日(月) 会報編集委員会

[予定]

令和7年6月 19日(木) 定時総会・特別講演会

令和7年7月 11日(金) 令和7年度近畿病院団体連合会第1回委員会  
16日(水) 理事会（兵庫県病院協会と合同開催）

令和7年8月 30日(土) 第20回研究発表会

## お知らせ

以下の申し込みを受け付け中です。  
詳しくは兵庫県民間病院協会ホームページからご確認ください。

- 総会後の講演会・懇親会  
開催日：令和7年6月19日(木)
- 第20回研究発表会 発表者の募集  
※研究発表会の参加者は7月から申し込みを開始  
開催日：令和7年8月30日(土)



# (一社)兵庫県全日本病院協会だより

一般社団法人 兵庫県全日本病院協会

## 令和7年度 第1回理事会議事録(速報)

I 日 時 令和7年4月17日(木)  
15:00～15:35

II 場 所 兵庫県医師会館6階  
第4・5会議室

III 出席者 理事総数14名 出席理事10名  
監事総数2名 出席監事2名  
理 事：西昂(会長)、吉田寛(副会長)、  
鄭正秀(副会長)、橋本創、常岡豊、  
大江与喜子、越智豊、宮地千尋、  
中井正信、大石麻利子  
監 事：大隈健英、東靖人

なお、吉田寛、橋本創、越智豊、大石麻利子は  
Web会議システムにより出席した。

IV 会議の成立

理事10名が出席し、定款第35条に規定する  
定足数を満たしており、本理事会が成立した  
旨確認された。

V 議 長

西昂会長が、定款第34条の規定により議長  
となった。

VI 議事の経過の要領及びその結果

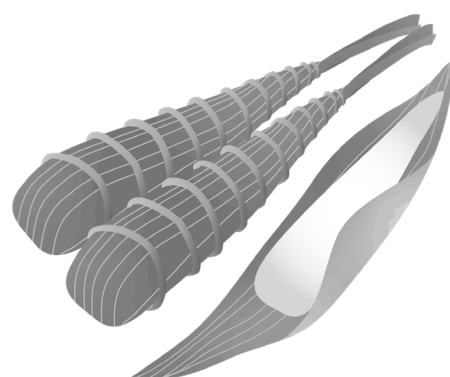
1 協議事項

特になし

2 報告事項

特になし

Web会議システムを用いた本理事会は、終  
始異常なく終了した。



公益社団法人 全日本病院協会

## 2025年度 第1回常任理事会

日 時 2025年4月19日(土) 13:00～16:00  
場 所 全日本病院協会 大会議室  
出席者 定数25名、出席22名(うちWEB会議出席14名)

### 議 事 要 旨 (抜 粋)

#### 【主な報告事項】

##### ●次期各都道府県理事候補者数について

猪口常任理事より、2025年4月1日付役員改選に伴う次期各都道府県理事候補者数について報告が行われ、了承された。

##### ●宮城県支部副支部長の交代について

猪口常任理事より、宮城県副支部長の本多正久先生(医療法人本多友愛会仙南病院 理事長)が退任することが報告された。

##### ●中央社会保険医療協議会 診療報酬改定結果検証部会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

(第72回・2025.4.9)

- 2024年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(2024年度調査)の報告書案が提示された。

##### ●中央社会保険医療協議会 総会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

(第606回・2025.4.9)

- 支払側(1号側)委員の末松則子氏が退任し、後任として伊藤徳宇氏(三重県桑名市長)が就任した。公益の安川文朗氏が退任し、城山英明氏(東京大学大学院法学政治学研究科教授)が就任した。

- 2025年6月1日収載予定の医療機器の保険適用が了承された。
- 2025年4月16日収載予定の新医薬品が了承された。
- DPCにおける高額な新規の医薬品等への対応について、2025年2月20日に新たに効能又は効果及び用法又は用量が追加された医薬品並びに2025年4月16日に薬価収載を予定している医薬品等については、包括評価の対象外とし、次期診療報酬改定までの間、出来高算定するとの説明があり、提案通り了承された。
- 在宅自己注射指導管理料の対象薬剤を追加する旨の説明があり了承された。
- DPC対象病院4病院の退出について報告が行われた。
- 2026年度診療報酬改定に向けた主な検討スケジュール案が提示され、了承された。
- 選定療養に導入すべき事例等に関する提案・意見募集について、これまでと同様に実施することが提案され、了承された。2025年4月～6月に提案募集し、2025年夏以降に提案の結果を踏まえ、中医協において議論する予定。

##### ●中央社会保険医療協議会 入院・外来医療等の調査・評価分科会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

(2025年度第1回・2025.4.17)

- 2025年度調査に実施する調査票案等が提示され議論した。調査票の一部を見直し、中医協総会に報告される。

### ●医道審議会保健師助産師看護師分科会 看護師特定行為・研修部会について

中尾常任理事より下記の報告がされた。  
(第36回・2025.2.26)

- 特定行為研修制度の推進について、①特定行為研修の組織定着化支援事業、②地域における特定行為実施体制推進事業、③地域標準手順書普及等事業、④医療の効率化に向けた領域別タスクシフト推進事業について説明が行われた。
- 特定行為研修を行う指定研修機関が2024年9月現在で426機関、年間あたり受け入れ可能な人数(定員数)は6,149人、特定行為研修の修了者数は2024年9月現在で11,441人であることが報告された。
- 関西医科大学附属病院から特定行為研修修了者の育成及び活用について自院での取組が報告された。
- 看護師の特定行為に係る指定研修機関指定申請等の事務手続きの簡素化について、指定研修期間指定申請等の主な改善方針案が提示され、了承された。

### ●令和6年度老人保健健康増進等事業について

美原副会長より、2025年3月にとりまとめた下記3事業の報告書について説明が行われた。

- (1) 通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護における認知症対応の実態に関する調査研究事業
- (2) 介護保険施設における特定行為研修修了者の養成及び医師との連携体制等に関する調査研究事業
- (3) 介護施設・事業所等における高齢者虐待防止・身体拘束廃止の取組推進に向けた調査研究事業

### ●各委員会報告について

- 医業経営・税制委員会委員長の須田常任理事より、全日本病院学会 in 北海道の委員会企画について、本委員会の下部組織として立ち上げた「病院給食改革に向けたプロジェクト」での議論内容等を示す企画を開催することが報告された。
- 病院のあり方委員会委員長の大田常任理事より、「病院を幸せにする方法」をテーマとして、各委員から問題意識等の提案があり、今後具体的に取り組んでいく内容について検討したことが報告された。

### ●日病協報告について

- 津留常任理事より、2025年4月16日に「令和8年度(2026年度)診療報酬改定に係る要望書【第1報】」を福岡厚生労働大臣(対応:保険局医療課)へ提出したことが報告された。

### ●厚生労働省、日医、各団体報告について

- 井上常任理事より、一般社団法人日本専門医機構理事会(第10回)の報告が行われた。

### 【討議事項】

#### ●外国人材の受入れについて

山本常任理事より、介護分野における特定技能協議会運営委員会(2024年度第1回・2025.3.28)が開催されたことに関連して、当協会における外国人材(介護)受入の推移等について説明が行われた。

- 介護人材不足対策として、国内人材には限度があり、海外人材に活路を求めたが、介護は対人の仕事で、言葉の壁、制度・習慣の違いがある。
- 政府の技能実習制度は1993年に開始し、2017年11月に制度の対象に「介護」が追加された。当協会では、高度な人材受入を目的として、2018年に監理団体の許可を受けて「外国人技能実習制度受入事業」を開始し、同年12月に「特定技能制度」が創設されたことから、技

能実習生の受入だけでなく特定技能にも対応するため「外国人材受入事業」と変更して、特定技能に係る登録支援機関としての事業も行っている。

- 本年4月から、技能実習、特定技能とも外国人介護人材の訪問系サービス従事を認めることとなり、その取扱いにおいては、「研修の実施など一定の条件のもとで、ハラスメント、事故などを防ぐという方向で認める」とこととされた。
- 外国人労働者の受入に関する政府方針は、専門的・技術的分野の外国人は積極的に受け入れ、それ以外の外国人は検討を要するという方針は変わっておらず、制度の変わり目の時もこの方針が適用され、いろいろなトラブルが起きているのが現状である。
- 2027年には育成就労法が施行され、技能実習に代わり「育成就労制度」がスタートする予定である。制度の詳細については「特定技能制度及び育成就労制度の基本方針及び分野別

運用方針に関する有識者会議」で議論されているが、この中に介護分野の関係者は一人もおらず、介護分野に対する配慮が乏しいと感じている。

- 現在は会員サービスとして本事業を行っているが、会員病院での受入が年間で250人～500人になれば十分に採算がとれる。会員の中には地域で会社を設立して外国人材受入事業を実施しているところもあるが、当協会から外国人材を受け入れてくれれば、監理費用なども更に下げることができると考えている。

猪口会長は、「当協会の受入事業の評判は良好で、受入れている外国人材も優秀であると聞いている。出来る限り会員病院には本事業を利用していただきたい。受入人数が増えれば本事業も軌道に乗るので、引き続き進めていきたい」と述べた。





金額単位：円

4 月 度 事 業 報 告	種 目	件 数	取扱高	前年同月比	種 目	件 数	取扱高	前年同月比
	1. 融 資	0 病院			6. 牛 乳	1 病院	22,297	△ 5,893
	2. 寝 具	26 病院	6,390,170	△ 239,365	7. 防 虫	0 病院	0	0
	3. 白 衣	22 病院	8,548,565	△ 509,340	8. 保 険 (手数料収入)		6,403	△ 3,887
	4. 患 者 衣	9 病院	649,407	△ 58,596	9. 飲 料 (手数料収入)		5,245	567
	5. パ ン	0 病院	0	0	10. そ の 他 (手数料収入)		3,795	3,795

## 4 月理事会について

日 時 令和7年4月17日(木)  
14:30～15:00

場 所 兵庫県医師会館 6階 第1会議室

役員総数 理事8名、監事2名

出席理事 8名（うち本人出席6名）

（うち議決権行使書出席2名）

出席監事 1名

### 議 題

#### 1 報告事項

##### (1) 3月度事業及び収支について

- ・事務局より資料に基づき3月の収支報告、決算概要を説明し了承された。

#### 2 協議事項

##### (1) 令和6年度決算について

- ・事務局より、配布した資料に基づき事業概況、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案について説明。2月、3月の役員会で報告した決算予想計数とほぼ同じになったこと、組合員へは7%配当を予定していることを説明し異議なく承認された。

##### (2) 第63回通常総会議案と議事進行について

- ・総会の議案、議事運営シナリオ、役割分担他について、配布した資料に基づき事務局より説明したところ異議なく承認された。

また、総会のシナリオについても承認された。

##### (3) 後任局長の派遣依頼取下げについて

- ・昨年9月の役員会で、みなと銀行からの出向者派遣について承認されたが、今般出向者派遣依頼を取下げの旨事務局より説明したところ、異議なく承認された。
  - ・理事長より、後任の局長について兵庫県民間病院協会の元局長稲田氏にお願いしたい旨説明があった。稲田氏との引継ぎを終了した時点で、現局長谷水が退職することで承認された。
- また、雇用条件等は理事長の方でまとめるとの説明があった。

#### 3 その他事項

##### (1) 次回役員会等の開催日時について

###### ・通常総会

令和7年5月15日(木) 14:30～15:00  
医師会館6階 第4会議室

###### ・定例役員会

令和7年7月16日(木) 14:30～15:00  
医師会館6階 第1会議室

※6月の役員会は、同日民間病院協会総会開催の為休会とする旨説明し了承された。



# 兵庫県病院企業年金基金だより

兵庫県病院企業年金基金資産別運用状況一覧表 (2025年4月～2025年4月)

収益率計算方法 : 修正ダイナミック法  
 総合口6資産分解 : 分解する

ファンド名	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		キヤッシュ等 (短期資金)		その他		資産全体		金額単位 : 円 資産全体
	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	
	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	
ベンチマーク	0.58%	-	0.33%	-	-1.62%	-	-3.96%	-	0.04%	-	0.04%	-	-	-	-
確	0.46%	-	0.31%	-	-1.63%	-	-3.59%	-	0.04%	-	-0.79%	-	-0.35%	-	-0.35%
総合計	4,650,058,544	896,506,464	896,506,464	896,506,464	801,521,549	877,503,527	877,503,527	320,305,075	1,355,039,975	15.22%	8,900,935,134	100.00%	100.00%	100.00%	
みずほ信託銀行合計	0.59%	-	0.18%	-	-1.64%	-	-3.59%	-	0.04%	-	-0.83%	-	-0.35%	-	-0.35%
確	3,004,903,440	598,500,303	598,500,303	598,500,303	538,593,590	575,998,560	575,998,560	263,371,428	1,293,784,797	20.62%	6,275,152,118	100.00%	100.00%	70.50%	
みずほ信託銀行 バランス	0.59%	-	0.18%	-	-1.64%	-	-3.59%	-	0.04%	-	-	-	-0.23%	-	-0.23%
確	3,004,903,440	598,500,303	598,500,303	598,500,303	538,593,590	575,998,560	575,998,560	263,362,397	-	-	4,981,358,290	100.00%	100.00%	55.96%	
みずほ債券 S A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03%	-	-0.64%	-	-0.64%	-	-0.64%
確	-	-	-	-	-	-	-	-	9,031	636,518,732	636,527,763	100.00%	100.00%	7.15%	
みずほアラロン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-1.01%	-	-1.01%	-	-1.01%
確	-	-	-	-	-	-	-	-	0	657,266,065	657,266,065	100.00%	100.00%	7.38%	
三井住友信託銀行 バランス	0.58%	-	0.57%	-	-1.61%	-	-3.56%	-	0.00%	-	0.04%	-	-0.20%	-	-0.20%
確	734,666,880	154,525,272	154,525,272	154,525,272	136,885,473	157,995,110	157,995,110	0	61,255,178	4.92%	1,245,327,913	100.00%	100.00%	13.99%	
三井UFJ信託銀行 バランス	0.58%	-	0.59%	-	-1.63%	-	-3.63%	-	0.04%	-	-	-	-0.20%	-	-0.20%
確	681,713,724	143,480,889	143,480,889	143,480,889	126,042,486	143,509,857	143,509,857	56,913,082	-	-	1,151,660,038	100.00%	100.00%	12.94%	
りそなマルチ	-2.04%	-	-	-	-	-	-	-	0.00%	-	-	-	-2.04%	-	-2.04%
確	228,774,500	-	-	-	-	-	-	-	20,565	0.01%	228,795,065	100.00%	100.00%	2.57%	

注) 「ファンド名」- 「ベンチマーク」は、ファンド「総合計」のベンチマークの値を表示。

兵庫県病院企業年金基金時価増減一覧表 (2025年4月～2025年4月)

収益率計算方法

: 修正ダイアーズ法

金額単位 : 円

ファンド名	速確区分	2025年3月末 時価総額	2025年4月末 時価総額	増減額	増減の内訳			時間加重 収益率	複合ベンチ マーク騰落率
					掛金等	給付等	収益		
総合計	確	8,961,199,334	8,900,935,134	-60,264,200	39,385,108	67,932,910	-31,716,398	-0.35%	-
みずほ信託合計	確	6,325,884,469	6,275,152,118	-50,732,351	39,385,108	67,932,910	-22,184,549	-0.35%	-
みずほ信託バランス	確	5,021,321,033	4,981,358,290	-39,962,743	39,385,108	67,932,910	-11,414,941	-0.23%	-
みずほ債券S.A	確	640,615,906	636,527,763	-4,088,143	0	0	-4,088,143	-0.64%	-
みずほアローン	確	663,947,530	657,266,065	-6,681,465	0	0	-6,681,465	-1.01%	-
三井住友信託バランス	確	1,247,790,696	1,245,327,913	-2,462,783	0	0	-2,462,783	-0.20%	-
三菱UFJ信託バランス	確	1,153,963,688	1,151,660,038	-2,303,650	0	0	-2,303,650	-0.20%	-
りそなマルチ	確	233,560,481	228,795,065	-4,765,416	0	0	-4,765,416	-2.04%	-

【月末マーケット指数】

	NOMURA-BPI		日興CB		TOPIX		FTSE世界国債		MSCI-KOKUSAI		コール有担保		日経平均(円)		10年国債為替(円/ドル)		米国NYダウ(ドル)		米10年国債為替(円/ユーロ)	
	349.164	4.626.52	-	4.641.96	0.33%	598.49	8.617.132	598.81	8.276.190	-3.96%	-	35,617.56	1.485	149.540	42,001.76	4.23	161.533			
2025年3月末																				
2025年4月末	351.194	4,641.96	-	4,641.96	0.33%	598.81	8,276.190	598.81	8,276.190	-3.96%	-	36,045.38	1.310	142.640	40,669.36	4.17	162.146			
年度末比上昇率幅	0.58%	-	-	-	0.33%	-1.62%	-3.96%	-1.62%	-3.96%	-	1.20%	-	-4.61%	-3.17%	-	-	0.38%			

兵庫県病院企業年金基金のホームページ <http://www.hyogokenbyoin-kikin.or.jp>

# ISR

Intelligent Social Reliance  
アウトソーシング サポート



ISRビル (統括本部)

〒650-0026  
神戸市中央区古湊通1丁目2番  
(ISRビル)

(業務案内)  
TEL 0120-366-761  
www.isr-group.co.jp

社会保険労務士  
**ISR 梨本**

働き方改革策定

労働条件・ハラスメント

労働保険事務組合  
経営者会議

概算確定・労災特別加入

合同会社  
**ISR パーソネル**

副業推進支援

人材紹介・リーダー育成

ISR e-Sports

シニア躍動・企業健康経営

株式会社  
**アイ・エス・アール**

データセンター ISR

レセプト管理・情報デザイン

ISRサテライトオフィス

リモートワーク・ウェブ会議

## 信頼・向上 そして社会貢献

男女共同参画社会づくり協定グループ (兵庫県)

## 病院年報・周年記念誌

承ります！

会報、大学要項など  
70年以上の実績があります。



今ご覧いただいている会報誌も弊社で作成いたしました。

## 患者様向け小冊子

も承っています！

例えば、診察・入院・手術などの手引書を、  
幅広い年代や、日本語が不慣れな方向けに

- ・ 翻訳
- ・ イラスト作成
- ・ ストーリー仕立てのまんが化

動画にも  
できます

すべてまるっと、お任せください！

## 印刷以外も

ご依頼ください！



ホームページ



動画



デジタルサイネージ



看板



資料のデジタル化  
(冊子・図面など)

情報をデザインする会社



# 株式会社 七旺社

URL : <https://www.shichiou.co.jp>

TEL : 078-575-5212

FAX : 078-577-8366

e-mail : [info@shichiou.co.jp](mailto:info@shichiou.co.jp)

〒653-0012 神戸市長田区二番町4丁目27番地



担当：佐藤 まで

医療・福祉のスマート経営に、  
アプリケーションは自由自在。



多様な業務をコーディネートし、お客様に合ったサービスをお届けします。  
業務内容の組み合わせも、お気軽にご相談ください。

## 医療・福祉事業経営のトータルアウトソーシング・ソリューション ワタキューグループの【包括委託サービス】 (セイモアシステム)

包括的に一元的に医療経営・福祉事業経営をサポートする【セイモアシステム】は、ワタキューグループ各社の協力体制で実現しています。

- ワタキューセイモア(株) / リネンサプライ・販売・総合サポート
- (株) フロンティア / 調剤薬局事業・福祉用具レンタル・販売事業
- 日清医療食品(株) / 給食受託事業・在宅配食サービス事業
- (株) メディカル・プラネット / 人材紹介・派遣・研修事業
- 綿久リネン(株) / ホテル・レストラン向けリネンサプライ
- 古久根建設(株) / 総合建設業



健康と快適の明日を考える

ワタキューセイモア株式会社

[www.watakyu.co.jp](http://www.watakyu.co.jp)

近畿支店 / 〒610-0396 京都府綴喜郡井手町多賀茶臼塚12-2 TEL 0774-82-5101

神戸営業所 / 〒651-1301 兵庫県神戸市北区藤原台北町7-4-1 藤田建設ビル2F TEL 078-982-2940

## 業務案内

# 兵庫県病院協同組合 (設立昭和 37 年)

幹 旋 及 び 取 扱 い	基準寝具及び 白衣・患者衣の賃貸	○ワタキューセイモア(株)
	牛乳	○(株)共進舎牧農園
	ねずみ・衛生害虫防除	○アペックス(株)
	自動販売機による飲料	○(株)チェリオ Co.、ダイナミックベンディングネットワーク(株) 関西コーヒー(株)、(株)アペックス西日本、 関西キリンビバレッジサービス(株)
	保険代理店	○損害保険ジャパン代理店 (組合募集代理店…(株)インシュアランスサービス) 兵庫県民間病院協会の会員病院、従業員を対象とした自動車保険・火 災保険等の取扱い  ○アフラック生命保険株式会社 (組合募集代理店…(株)エイフ) 組合員病院、従業員を対象とした集団扱い商品(がん保険)の取扱い
	自動車リース	○(株)イチネン
	家庭常備薬、サプリメント (対象:組合員病院の全職員)	○(株)諒和(旧 大日商事(株)) 組合員病院の職員の福利厚生及びその家族の疾病予防、健康増進の一 助として、年2回幹旋実施
	紳士服、レディース用品 (対象:組合員病院の全職員)	○(株)青山商事と提携 「洋服の青山」で買い物時、「AOYAMA タイアップカード」(入会無料) の提示により、通年、10%の割引(割引セールの場合は割引後の価格 から)が受けられる。(福利厚生の一助として)
引越 (対象:組合員病院及び組合 員病院の全職員)	○(株)サカイ引越センターと提携 「特別割引専用ダイヤル」(TEL 0120-56-1141)で申込みと、特別優待 割引(引越基本料金の20%以上割引。但し3月15日～4月15日は除く) が受けられる。(福利厚生の一助として)	

※上記以外にも、オゾン方式グリーストラップ改善装置、転倒リスク軽減離床センサー、多言語映像通訳等の  
病院関連商品をはじめ、病院運営に役立つ物品・機器の紹介や幹旋をおこなっています。

※また、院内業務改善やコスト削減、患者様へのサービス向上、職員の満足度向上等をお考えの組合員病院様に、  
実現へのお手伝いができるよう、組合から適切な事業者・事業をご紹介し、ご提案などをさせていただきます。  
お気軽にお問合せ下さい。

加入病院 120病院  
 主な取引銀行 商工中金、みなど、日新信金他  
 理事長 西 昂 (医療法人康雄会 西病院理事長)  
 専務理事 鄭 正 秀 (医療法人社団博愛恵秀会 神戸博愛病院理事長)  
 常務理事 森 村 安 史 (医療法人樹光会 大村病院理事長)  
 事務局長 谷 水 直 人

- ・協同組合には10万円の出資金のみ拠出いただければご加入できます。ご加入後は年会費など頂戴するこ  
とはありません。
- ・取扱い業務並びに組合加入その他詳細は協同組合事務局へお問い合わせください。

協同組合事務局・TEL (078) 230 - 2525  
 FAX (078) 230 - 2526



**(一社)兵庫県民間病院協会会報**

令和7年5月25日発行・通巻651号

発行人 一般社団法人 兵庫県民間病院協会会長 西 昂  
〒651-0086 神戸市中央区磯上通6丁目1番11号 兵庫県医師会館7F  
TEL (078) 230-1181 Eメール info@hgminkanhp.or.jp  
URL <https://www.hgminkanhp.com>  
編集者 東 靖人、榎村忠浩、園田 香、原 正也、山田泰嗣、吉田明史

印刷 (株)七旺社 神戸市長田区二番町4丁目27番地・TEL (078) 575-5212(代)